

母子里地区地域づくり協議会について

1 本協議会の位置づけ

平成25年3月に道において策定した「北海道における集落対策の方向性」に基づき、住民、NPO、団体・企業、市町村、道、大学、試験研究機関などが一体となって、集落対策に関するモデル的な取組を実践する「北海道集落総合対策モデル事業」を推進するため、道内3箇所モデル地区ごとに協議会を設置するもの

2 本協議会の役割

- 集落の状況分析（住民の意向の把握、アンケート調査の実施 など）
- 住民同士の協議・交流の場の設置（住民意見交換会の開催 など）
- 集落対策の方針づくり（集落の目指すべき将来像等の検討 など）
- 具体的な取組の推進（課題解決に向けた対応策の検討及び実施 など）

3 今後の主なスケジュール（想定）

平成25年6月

- 地域協議会の設置（役員選出、アンケート項目の検討、今後のスケジュール 等）

平成25年7月～8月

- 集落の状況分析、課題や住民の意向把握（アンケート調査の実施 等）

平成25年9月

- 具体的な課題や問題点などの整理（アンケート調査結果の取りまとめ 等）

平成25年10月

- 住民意見交換会の開催【第2回地域協議会】

※アンケート調査の結果などを基に住民を対象とした意見交換会を開催

平成25年11月～平成26年3月【第3回～第5回地域協議会】

- 集落の方向性や具体的な対応策について検討（中間的な取りまとめ）

平成26年度【地域協議会を5回程度開催（予定）】

- 課題解決に向けた具体的な取組の実施と効果の検証
- 集落の将来像の明確化（最終的な取りまとめ）